

ストッカード・チャニング
アカデミー賞主演女優賞

ウィル・スミス

ドナルド・サザーランド

“地球上の全ての人は誰でも
6人を辿るとつながるそうよ
たった6人の隔たり”

●素晴らしい演劇が今、
偉大な映画となった！
WNCN/NY 1 NEWS

●スタイリッシュで刺激的！
ニューハウス・ニュース

●最も知的でウィットに富んだ脚本！
豪華な演技陣による素晴らしいユーモア
スニーク・プレビュー

●たった6人を描くことで地球上の全てを語った。
美しく挑戦的な鋭い風刺。
PLAY BOY

●NYの階級社会を爽快な皮肉で見つめた究極の映画！
GLAMOUR

●観たあと誰もが、この作品について誰にでも話したくなる。
フィルム・ジャーナル

私に近い 6人の他人

フレッド・スケピシ作品

メトロ・ゴールドウィン・メイヤー提供/メイトン・ムービー・ミュージック・エンターテインメント・プロダクション/ストッカード・チャニング/ウィル・スミス/ドナルド・サザーランド
"SIX DEGREES OF SEPARATION" メアリー・ベス・ハート/ブルース・ディヴィン/イアン・マッケラン/音楽：ジェリー・ゴールドスミス/編集：ピーター・ホーネス
プロダクション・デザイナー：バトリシア・フォン・ブランテンシュタイン/撮影：イアン・ベイカー/製作総指揮：リック・キドニー/監曲：ジョン・グエア/脚色：ジョン・グエア/製作：フレッド・スケピシ AND アーノン・ミルチャン

COOL EFFECTS

監督：フレッド・スケピシ UIP配給/MGM映画

IP

© 1993 METRO-GOLDWYN-MAYER INC. ALL RIGHTS RESERVED.

〈キャスト〉
 ウイザ……ストックード・チャニング
 フラン……ドナルド・サザーランド
 ボール……ウィル・スミス
 〈スタッフ〉
 監督……フレッド・スケピシ
 脚色……ジョン・クエア
 音楽……ジェリー・ゴルドスミス



フレッド・スケピシ作品

SIX DEGREES OF SEPARATION 私に近い6人の他人

ニューヨーク——それぞれの扉の中に それぞれの人間模様

ニューヨーク五番街の高級住宅地。その虚飾に満ちた閉鎖的なハイソサエティーの扉を打ち破る様にして、ある夜、一人の訪問者がやって来る。詐欺師? 強盗? 不可思議な魅力を放つその黒人青年は、一体、何の目的で、扉を叩いたのか。ここに描かれるのは、得体の知れない闖入者にざわめく、ニューヨークのアパー・ミドル・クラスの人々。サスペンスフルなストーリー展開を見せながら、思いがけないほどの人間的な感動に至る異色のドラマである。

全編ニューヨーク・ロケーションにより撮影されたこの作品は、金持ちからホームレス、白人、黒人、ユダヤ人、老若男女、ゲイ、ストレートと、アメリカの大都会の持つ多様性を、万華鏡のように照らし出す。ニューヨークという巨大な街をパノラマで眺め、一方で、人間の心の奥深い部分に斬り込み、物語はセンセーショナルな方向へと進んでいく。これは、ニューヨークの初演で絶賛を浴び、ロンドンを初めとする世界各都市で成功を収めた同名の舞台劇を映画化した話題作である。

高級マンションに住み、夜毎パーティーで噂話に興じる美術商のキトリッジ夫妻は、突然、怪我をして転がり込んできた黒人青年ボールを、自分たちの子供の同級生だと信じ込んだ。洗練された言葉を操り、名優シドニー・ポワチエの息子と名乗るボール。しかし、それが真つ赤なウソだとわかった時、夫妻は滑稽なほどあわてふため

く。金持ち同士、同じ匂いを持つ者同士の世界に、遠慮会釈なく割り込んできた招かれざる客、それは、彼らにとっては異物であり、許されない侵入者だった。と同時に、退屈な彼らの社会では、この出来事は、格好の噂話の種にもなった。やがて、夫妻は、ボールがまったく同じ口で、自分たちの友人の家に次々に侵入していた事実を知る。さらに、ボールにまつわるショッキングな事件が、キトリッジ夫妻の身に降りかかる……。

妻ウイザには、舞台でも3年以上にわたってウイザ役を務めたストックード・チャニング。この作品でアカデミー賞主演女優賞にノミネートされた。その夫フランを演じているのは、ドナルド・サザーランド。そして、カリスマ的な魅力を発するボールを人気ラップ歌手出身のウィル・スミスが演じている。

全編を絢爛に彩る美術品の数々

この作品を製作するにあたってスタッフたちは世界中の美術商や芸術家たちからドガ、セザンヌといったフランス画家をはじめ、ニューヨークで活躍したウォーホル、バスキア、デヴィッド・サーレ、メイブルソープらのオリジナル作品を何点も特別に借りてきて、撮影にそなえた。



近日ロードショー!

特別鑑賞券発売中! 一般¥1500(当日¥1800の処)

シャンテシネ1

日比谷・東宝映画街 ☎03(3591)1511